令和７年度 栃木県こどもモニター

第１回アンケート結果

（保護者）

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

　栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。
　モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。
　もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えましょう！

2. 第１回アンケート期間

令和７年７月10日（木曜日）から７月31日（木曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答URLを送付、WEBサイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

301名

5. 第１回アンケート回答者数

282名

6. 第１回アンケート回答率

93.7%

※　「その他」の自由記述回答については、こども家庭庁「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」に基づき、こども・若者にとって読みやすく伝わりやすいものとするため、内容を整理して掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男性	34	29	10.3%	85.3%
女性	266	252	89.4%	94.7%
その他	1	1	0.4%	100.0%
合計	301	282	-	93.7%

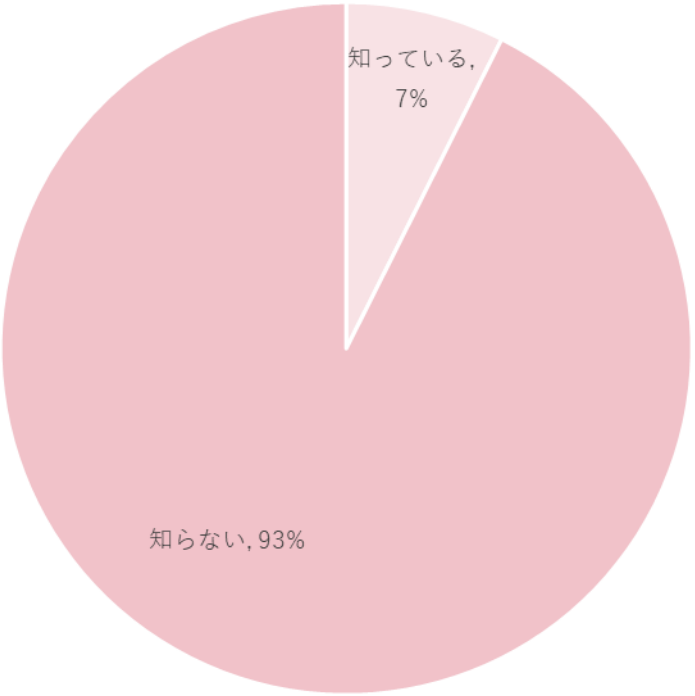
年齢	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
10 代	0	0	0.0%	0.0%
20 代	5	4	1.4%	80.0%
30 代	116	105	37.2%	90.5%
40 代	139	134	47.5%	96.4%
50 代	40	39	13.8%	97.5%
60 代	0	0	0.0%	0.0%
70 代以上	1	0	0.0%	0.0%
合計	301	282	-	93.7%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したものになります。そのため、合計が 100.0%にならないものがあります。
※ 各アンケート結果の数値は、見やすさを重視し割合は小数点以下を四捨五入して整数で表示しています。

テーマ１

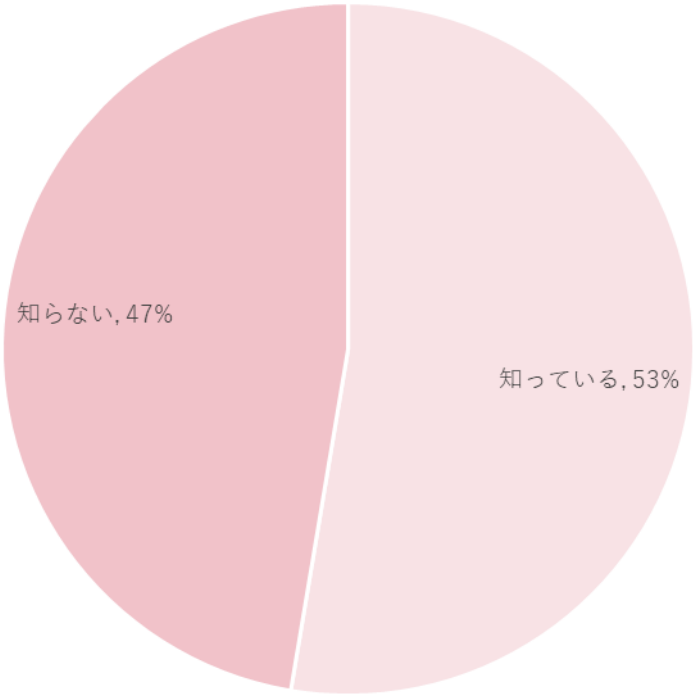
栃木の「木」や木に関する仕事について

Q1.「とちぎ木づかい条例」を知っていますか。



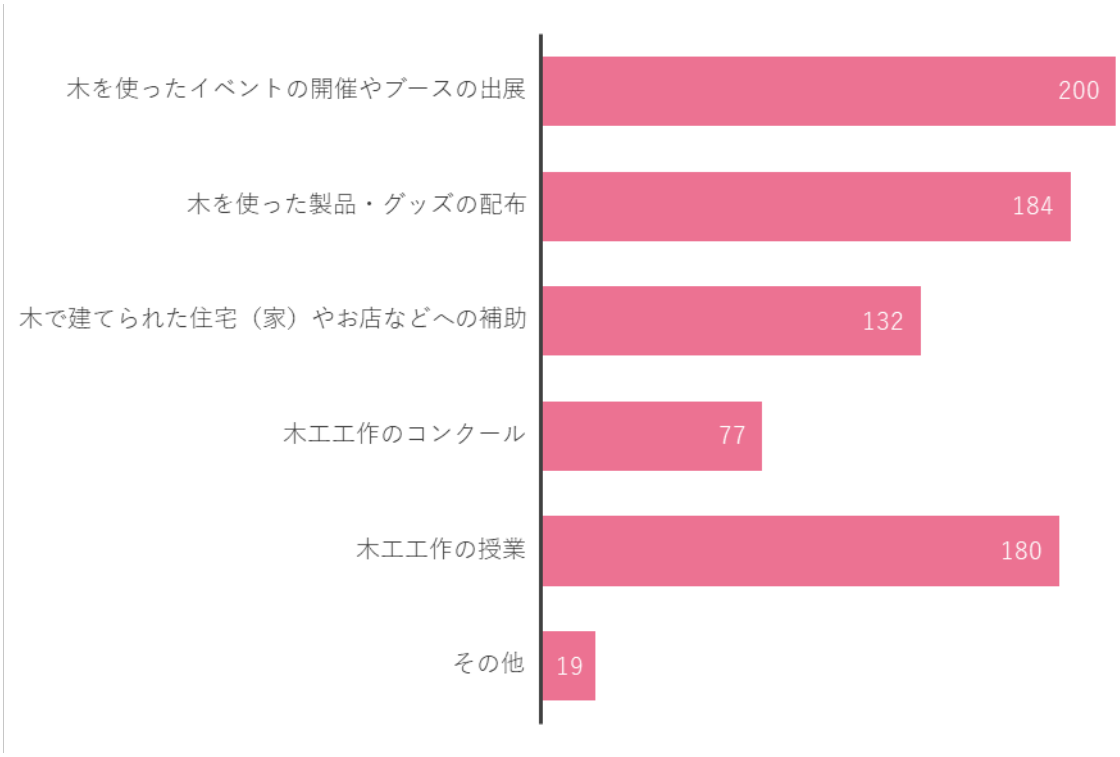
【調査結果の概要】
「知らない」が 93％で 9 割を超える人が、「とちぎ木づかい条例」を知らない結果となった。

Q2.若くて元気な森林を保つためには、木を「伐（き）って、使う」ことが必要なことを知っていますか。



【調査結果の概要】
「知っている」（53%）が、「知らない」（47%）を上回る結果となった。

Q3.みなさんに木の良さを感じてもらうためには、県がどのようなことに取り組むと良いと思いますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

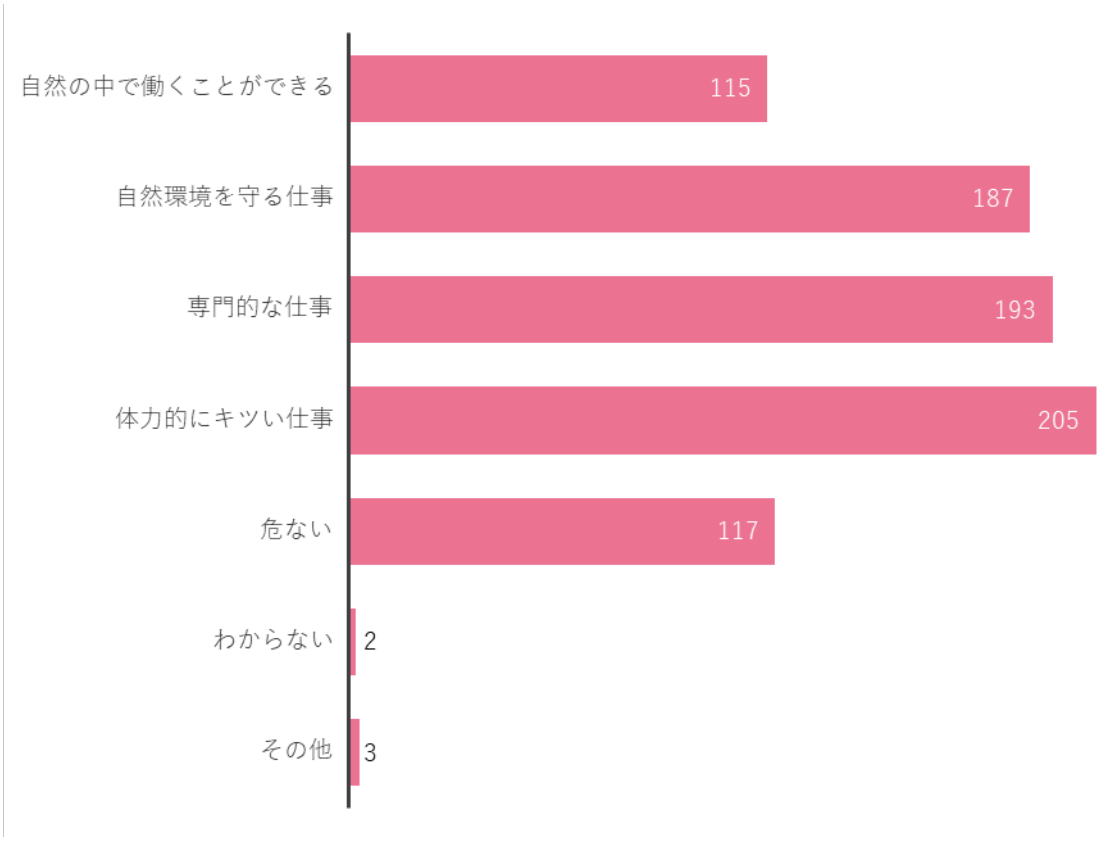
「木を使ったイベントの開催やブースの出展」（200 件）が最も多く、以下、「木を使った製品・グッズの配布」（184 件）、「木工工作の授業」（180 件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- 東京にある、木で作った、檜原 森のおもちゃ美術館や東京おもちゃ美術館のような、木のぬくもりが味わえる施設がほしい。
- 木を作って簡単にこどもと作れるワークショップ
- 県の施設を木で建てる
- とちぎのプロモーション施策として、優れた木工製品等の発信。飛騨家具のようなブランディング
- 学校での授業にて啓蒙する。
- 小学校の授業にて、生き物を飼育するためなど目的ある木造小屋などを児童の手によって建設する。
- 小中高、または自治体の行事で林業関連施設への体験見学を積極的に取り入れる
- 最新テクノロジーでこんな事もできるのか！という加工や使い方を紹介してほしい。
- 公園に木を使ったアスレチックなどの設置
- 林業見学＆体験
- 子供達に授業で取組を知ってもらう
- 木工製品を長く楽しむためのコツ、手入れ方法。良い点アピール
- 子供達が実際に手を動かせるのがいいと思って
- 林業や木の加工をしている工場の見学
- 普段自宅で、木製のスプーンを使用していますが、一度使うと舌触りが良く、金属には戻れないなと思います。給食や、職場等木の食器等も使ってみてもらうというのも。
- 薪ストーブの家へ薪を提供（加工、運搬は各家庭）

- 科学館みたいに木の博物館みたいなのを作って家族連れで楽しめるテーマパークとかあったら行きやすいと思います
- 埼玉では「もくいくひろば」と言った、さいたまで伐採された木を使った遊具が商業施設の中にあり、帰省の際に子どもが楽しそうに遊んでいました。そういった子ども向けの木を使った遊具などが屋内にある施設が近所にできたら是非利用してみたいと思います。
- 子ども向け工作材料や工作キットとして安価で販売や配布。木材チップ等として家庭やへ配布。積み木や木のおもちゃとして利用、幼保施設に配布や巡回展示、常設の木のおもちゃの遊び場に活用。家を持たない選択をする人もいるので、家への補助金とされるのは違和感がある。
- 親子で取り組める講座(木工教室、森林散策など)

Q4.あなたは「林業」という職業に対してどのようなイメージをもっていますか。【いくつでも選んでください】



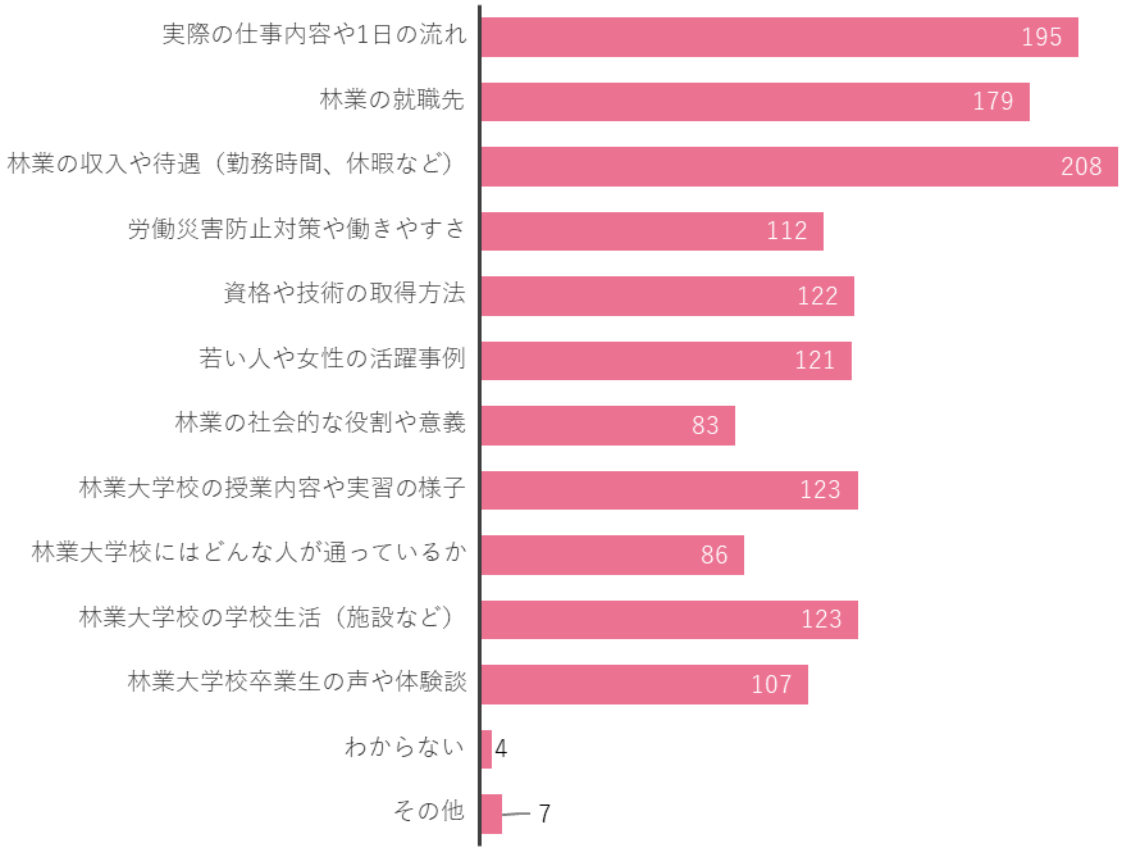
【調査結果の概要】

「体力的にキツい仕事」(205 件)が最も多く、以下、「専門的な仕事」(193 件)、「自然環境を守る仕事」(187 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- 昔の男性世界で、女性の居場所が狭そう。
- 従事者が少ない、狭き門というイメージ
- それだけでは生計が成り立たない職業
- 収入がとても低いイメージがあります。

Q5.「林業の仕事」や令和６年に開校した「林業の大学校」に関心を持つために、知りたい情報はどんなことですか。【いくつでも選んでください】



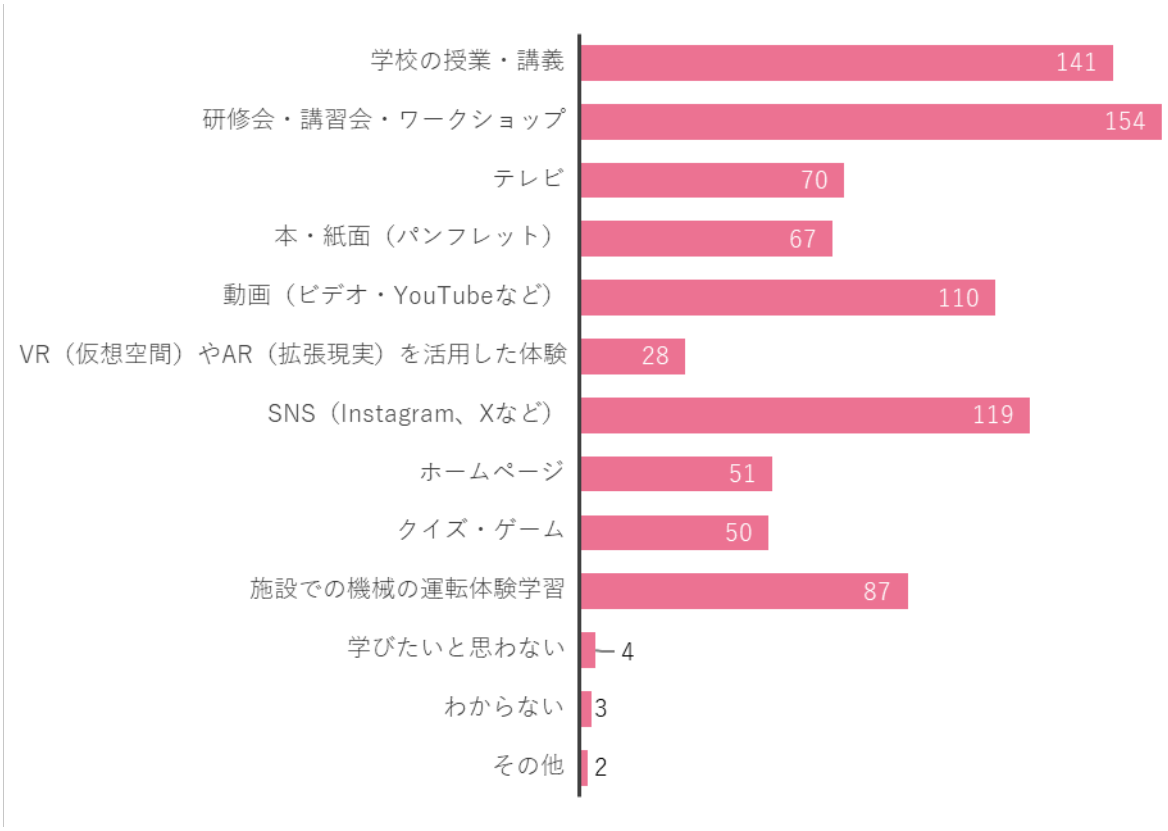
【調査結果の概要】

「林業の収入や待遇（勤務時間、休暇など）」（208 件）が最も多く、以下、「実際の仕事内容や 1 日の流れ」（195 件）、「林業の就職先」（179 件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- 魅力・経済的な成立性
- 林業大学校を卒業することでの他にはないメリット（例：ノーマルな大学を卒業するより林業大学校を卒業した方が何がいかに本人にとってメリットがあるのか）
- 若い時は体力があるが、40～60 歳代の仕事内容は同じか？収入は？女性の出産育児中や復帰後の労働環境は？
- 体験会、入学問わず参加できるイベント開催
- 正直、農業もふくめ、林業等の方々と日常で触れ合う機会がなく、想像が難しいです。そのため職業としての夢も膨らみにくく、収入等も芳しくないようなイメージがあり、惹かれません。
- 体力、腕力が、どのくらい必要か。体を使わない、頭脳的な仕事もあるのかどうか。病弱な人が、室内でずっと仕事をする、そのような業務もあるのか。
- オープンキャンパスで気軽に学校の様子が知れると選択肢が増える。

Q6.「林業」の仕事を知るために、あなたならどのような方法で学びたいですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「研修会・講習会・ワークショップ」（154 件）が最も多く、以下、「学校の授業・講義」（141 件）、「SNS（Instagram、X など）」（119 件）などと続いている。

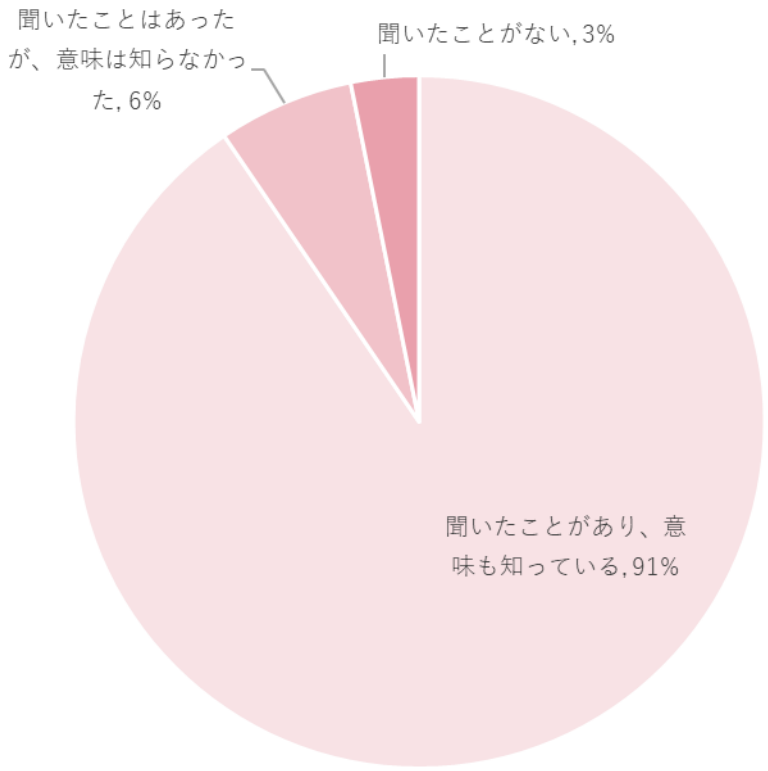
【その他の自由記述】

- 山菜取り
- 職業体験

テーマ 2

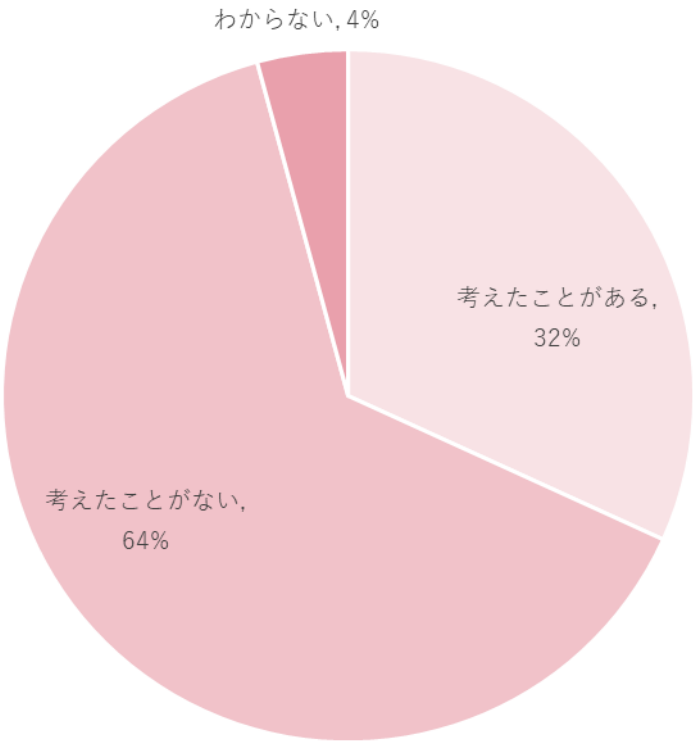
自分で新しく仕事を始めることについて

Q7.新しく会社を設立したり、個人事業主として事業を立ち上げることを「起業」または「創業」といいます。この言葉を聞いたことがありますか。



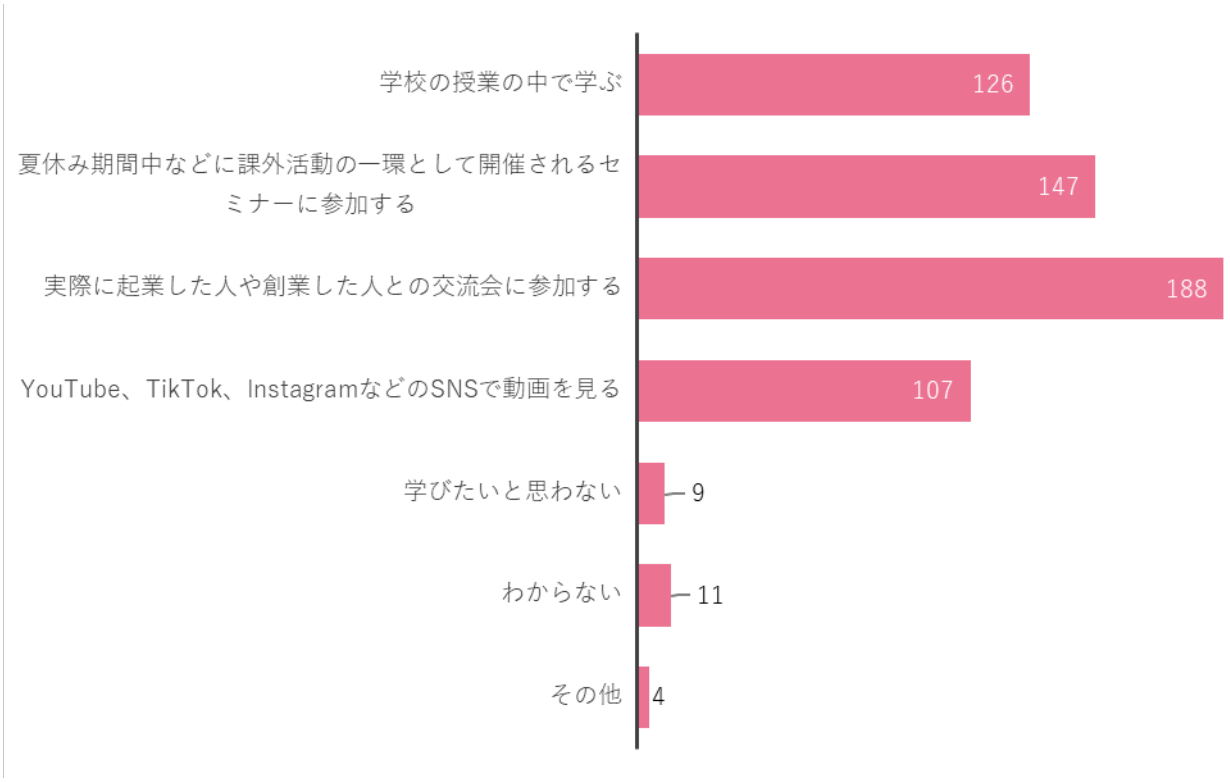
【調査結果の概要】
「聞いたことがあり、意味も知っている」(91%)が最も多く、以下、「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(6%)、「聞いたことがない」(3%)と続いている。

Q8.「起業」や「創業」について、あなたの将来の選択肢として考えたことはありますか。



【調査結果の概要】
「考えたことがない」(64%)が最も多く、以下、「考えたことがある」(32%)、「わからない」(4%)と続いている。

Q9.「起業」や「創業」について学ぶとしたら、あなたならどのような方法で学びたいですか。【いくつでも選んでください】



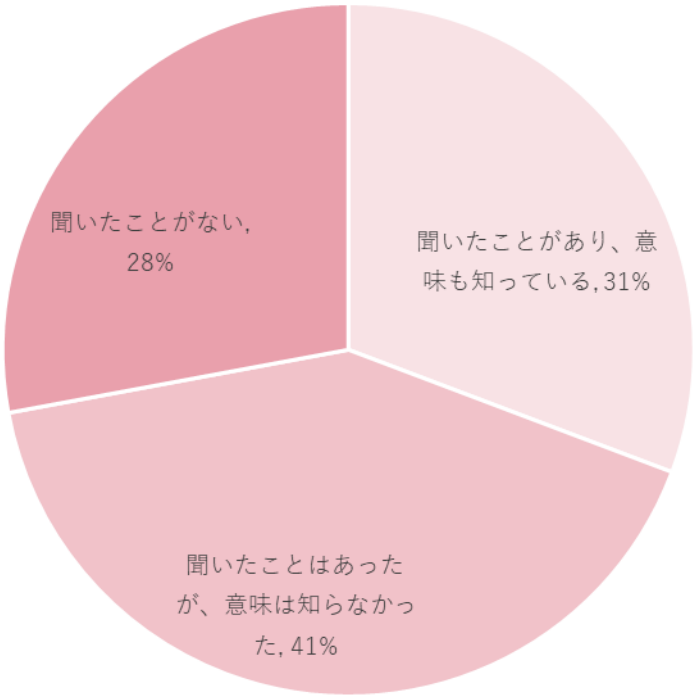
【調査結果の概要】

「実際に起業した人や創業した人との交流会に参加する」(188 件)が最も多く、以下、「夏休み期間中などに課外活動の一環として開催されるセミナーに参加する」(147 件)、「学校の授業の中で学ぶ」(126 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- 低リスクで実践できるようなサポート
- 実際に起業してみる
- 社会人向けのセミナー
- 土日に開講

Q10.新しいビジネスモデルや技術を基に、短期間で急成長を目指す企業のことを「スタートアップ企業」といいます。この言葉を聞いたことがありますか。

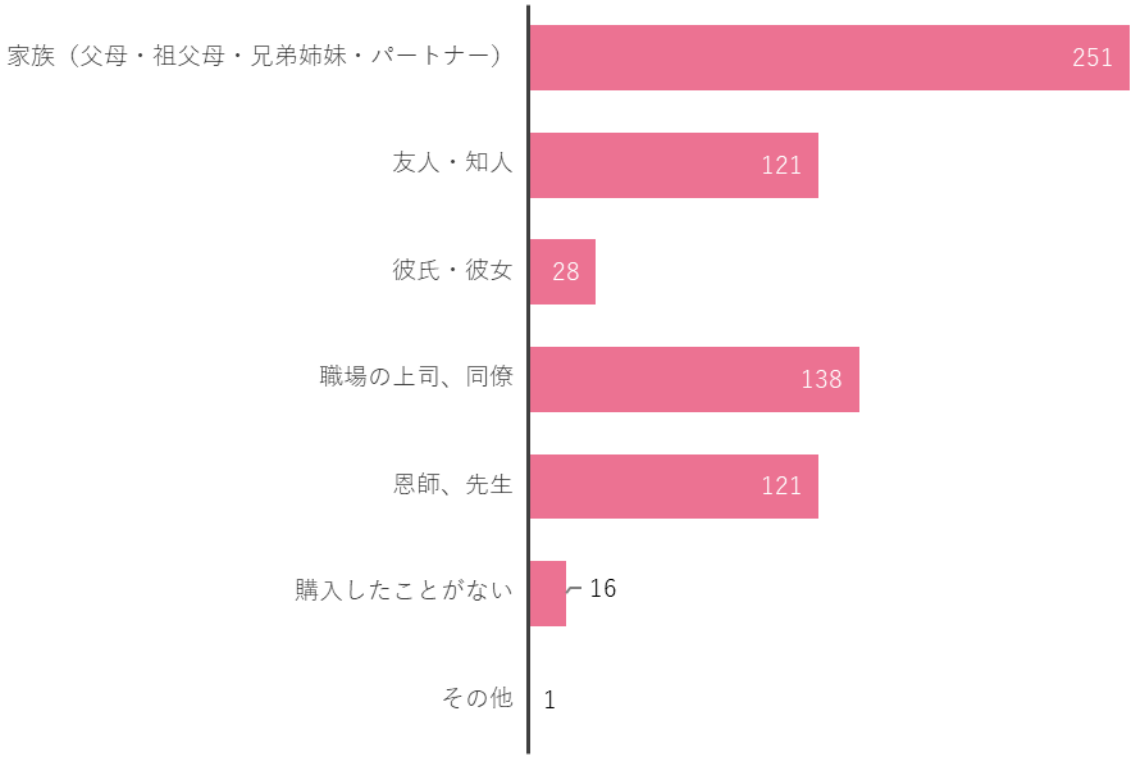


【調査結果の概要】
「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(41%)が最も多く、以下、「聞いたことがあり、意味も知っている」(31%)、「聞いたことがない」(28%)と続いている。

テーマ 3

栃木の「花」について

Q11.あなたは、プレゼント用として花を購入したことがありますか？それは誰に対しての購入でしたか。【いくつでも選んでください】



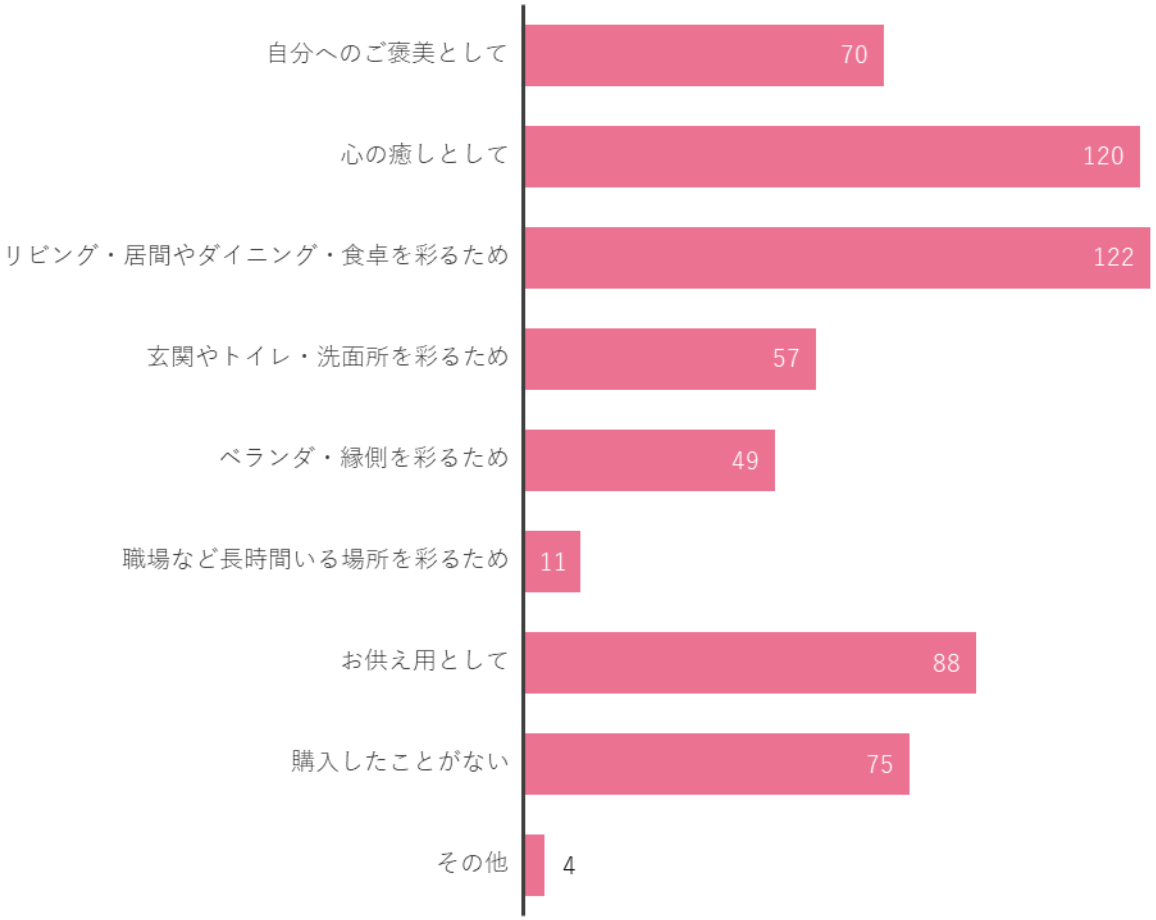
【調査結果の概要】

「家族（父母・祖父母・兄弟姉妹・パートナー）」(251 件)が最も多く、以下、「職場の上司、同僚」(138 件)、「友人・知人」「恩師、先生」(121 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

・　自分

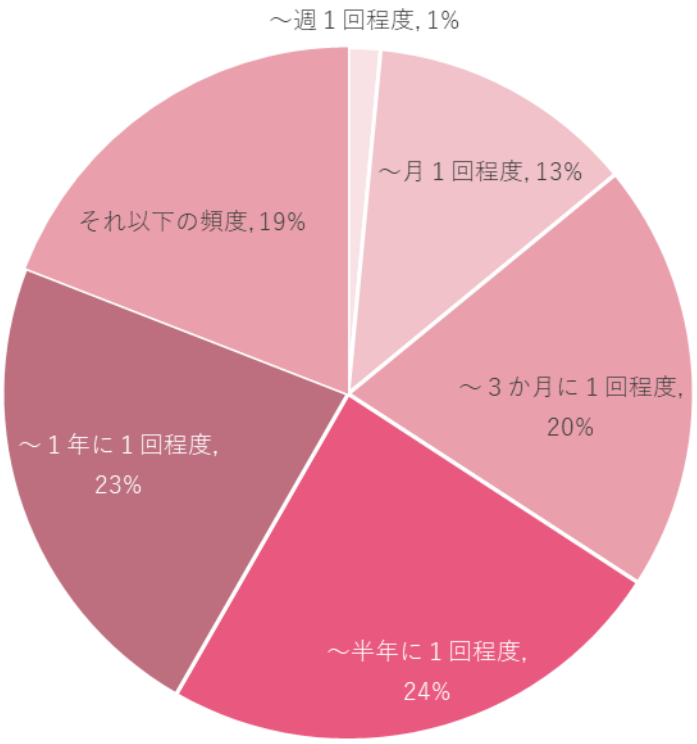
Q12.あなたは、自分やご自宅用として花（切り花・鉢植え）を購入したことがありますか？それはどのような目的での購入でしたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】
「リビング・居間やダイニング・食卓を彩るため」(122 件)が最も多く、以下、「心の癒しとして」(120 件)、「お供え用として」(88 件)などと続いている。

【その他の自由記述】
- 記念に
- 庭を彩るため
- 子供が花を生けるので購入しました。
- 子供が欲しがったので

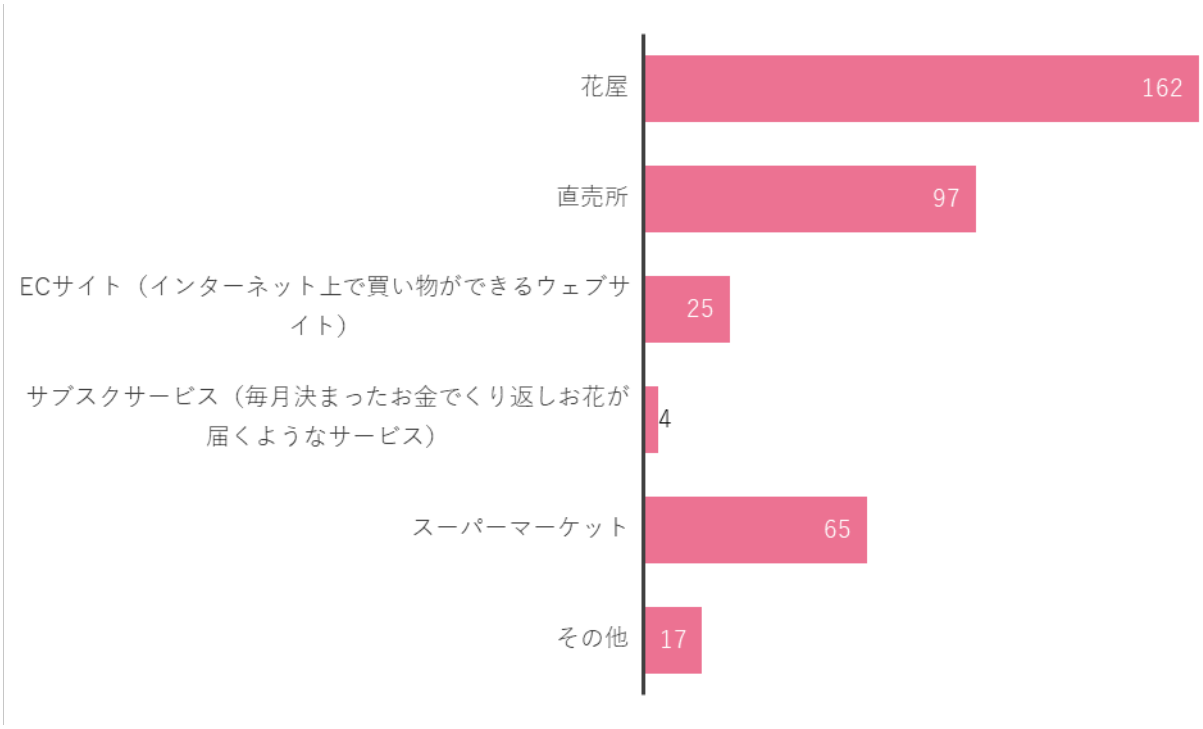
Q12-2.「Q12」で「自分やご自宅用として花を購入したことがある」と答えた方に質問します。どのくらいの頻度で購入をしますか？



【調査結果の概要】

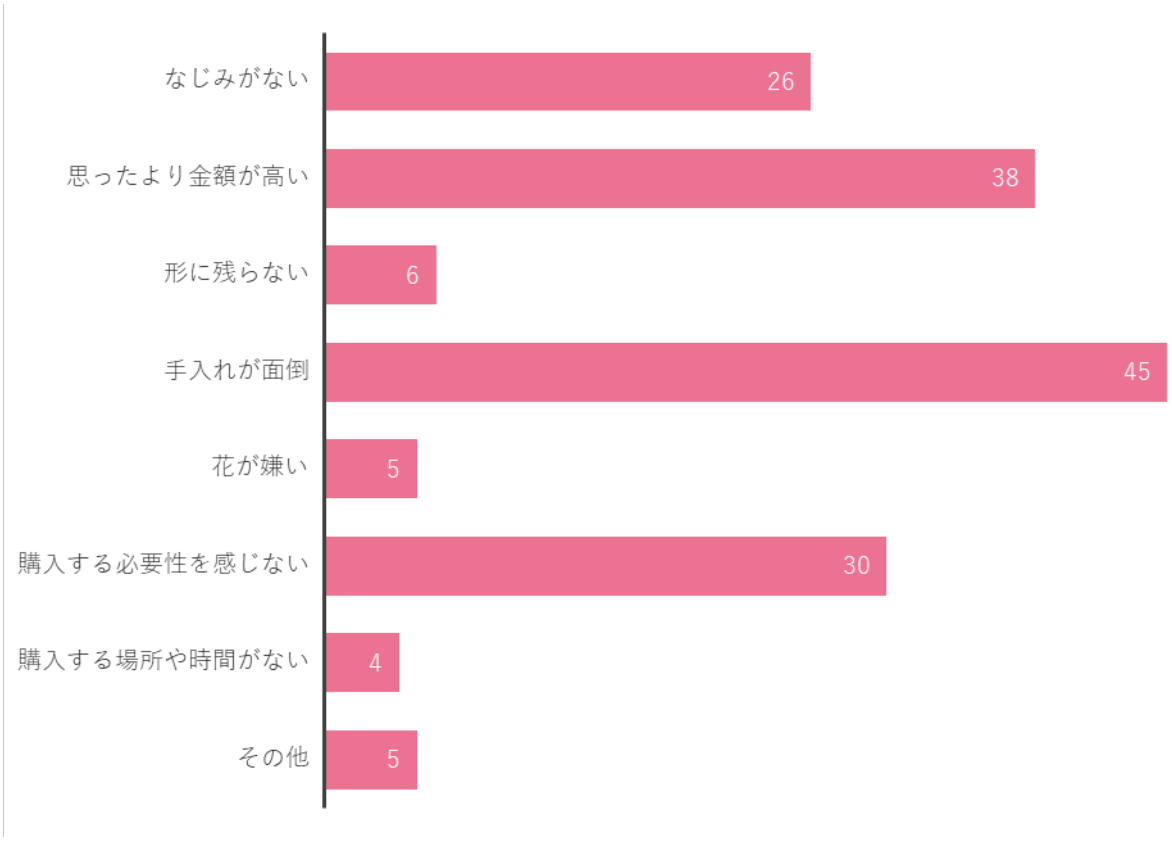
「～半年に１回程度」(24%)が最も多く、以下、「～1 年に１回程度」(23%)、「～３か月に１回程度」(20%)などと続いている。

Q12-3.「Q12」で「自分やご自宅用として花を購入したことがある」と答えた方に質問します。どこで購入しますか。【いくつでも選んでください】



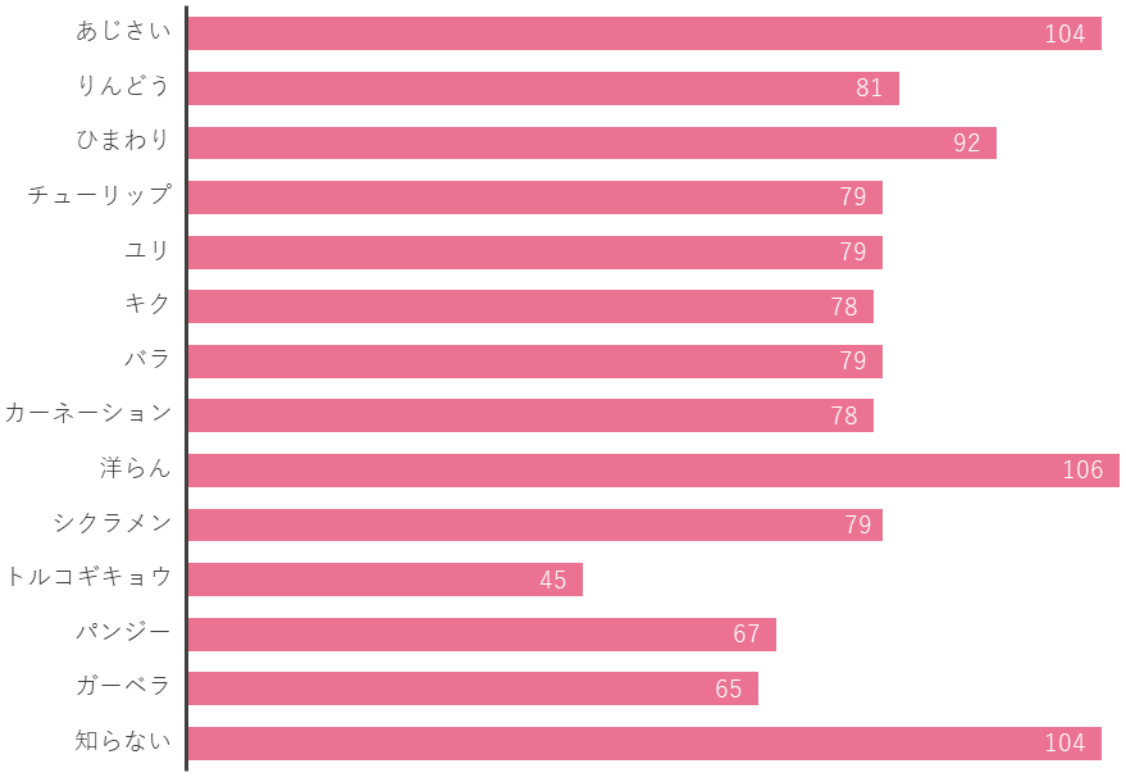
【調査結果の概要】
「花屋」(162 件)が最も多く、以下、「直売所」(97 件)、「スーパーマーケット」(65 件)などと続いている。

Q12-4.「Q12」で「自分やご自宅用として花を購入したことがない」と答えた方に質問します。購入しないのはなぜですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】
「手入れが面倒」(45 件)が最も多く、以下、「思ったより金額が高い」(38 件)、「購入する必要性を感じない」(30 件)などと続いている。

Q13.栃木県には、全国の中でも生産量が多かったり、県オリジナル品種を育成していたり、生産が盛んな花がいくつかあります。あなたは、そのような花の種類を知っていますか。知っている種類を教えてください。【いくつでも選んでください】



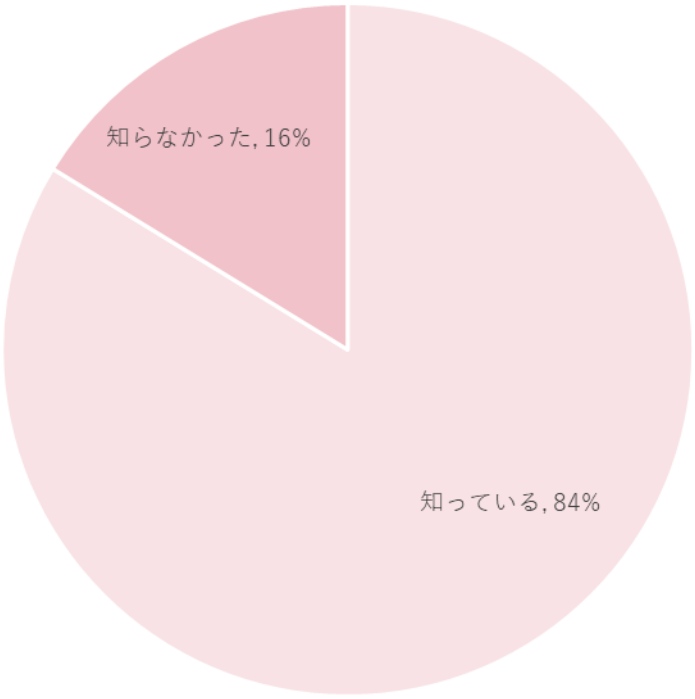
【調査結果の概要】

「洋らん」（106 件）が最も多く、以下「あじさい」「知らない」（104 件）などと続いている。

テーマ 4

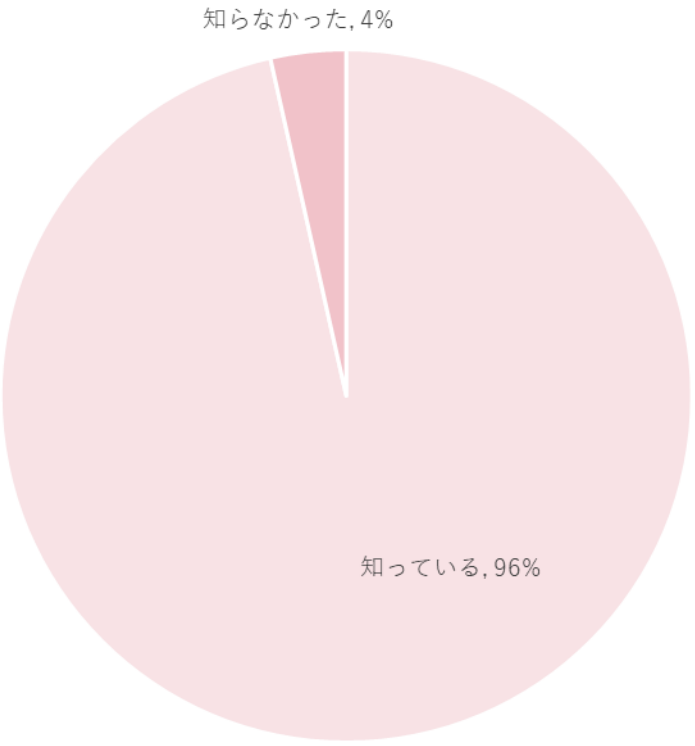
自転車を利用するときの安全について

Q14.令和８年４月から、16 歳以上の方の自転車での信号無視や一時不停止、携帯電話使用運転などの一定の違反について、交通反則切符が適用され、反則金が課されるようになることを知っていますか。



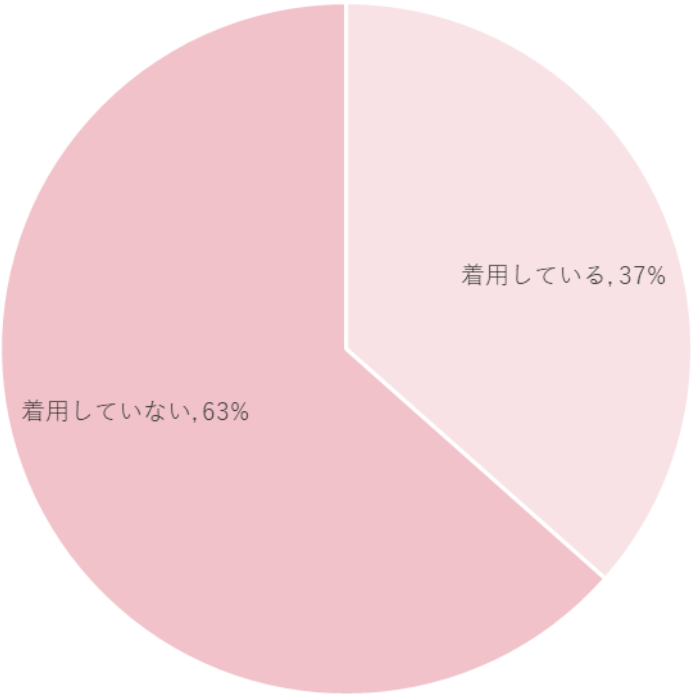
【調査結果の概要】
「知っている」(84%)、「知らなかった」(16%)と、「知っている」と答えた人が８割を超える結果となった。

Q15.道路交通法や栃木県の条例で自転車を利用する際は、ヘルメット着用に努めるよう規定されているのを知っていますか。



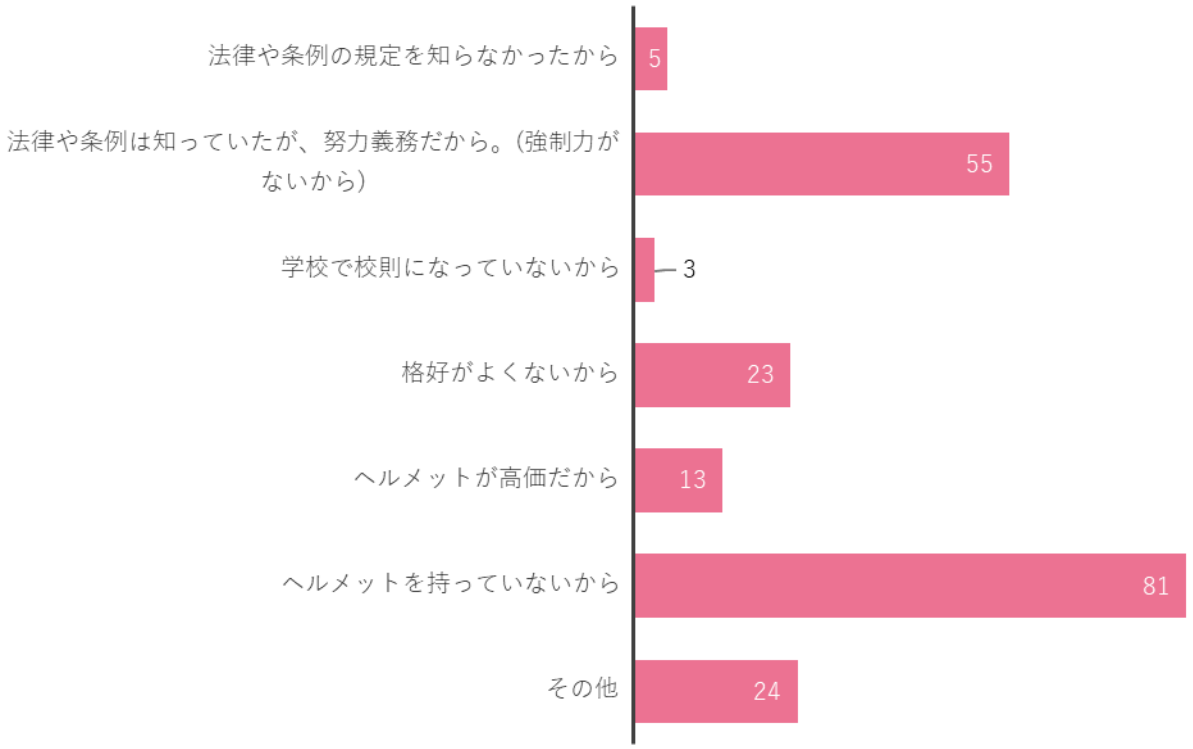
【調査結果の概要】
「知っている」(96%)、「知らなかった」(4%)と、「知っている」と答えた人が９割を超える結果となった。

Q16.自転車を利用している方に質問です。自転車に乗るときにヘルメットを着用していますか。



【調査結果の概要】
「着用していない」(63%)、「着用している」(37%)と、「着用していない」と答えた人が 6 割を超える結果となった。

Q17.「Q16」で「ヘルメットを着用していない」と回答した方にお聞きします。着用しない理由は何ですか。　【いくつでも選んでください】



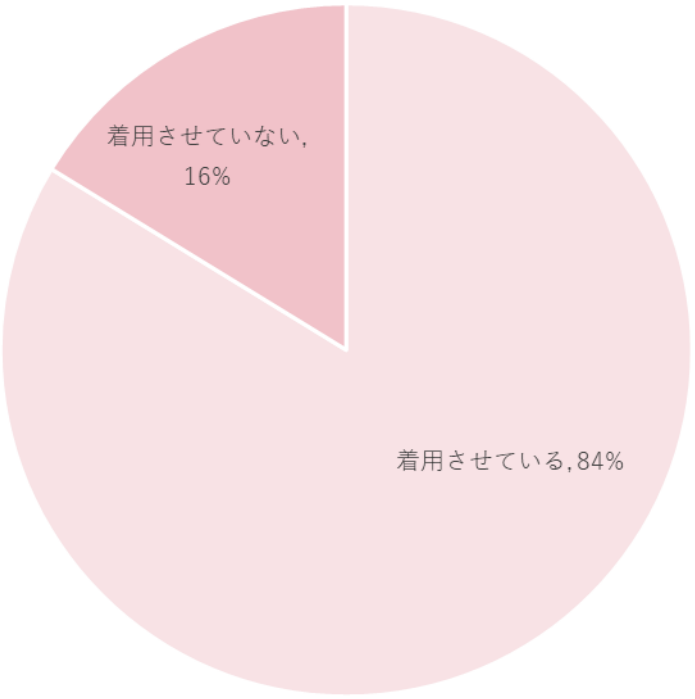
【調査結果の概要】

「ヘルメットを持っていないから」(81 件)が最も多く、以下、「法律や条例は知っていたが、努力義務だから。（強制力がないから）」(55%)、「その他」(24 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

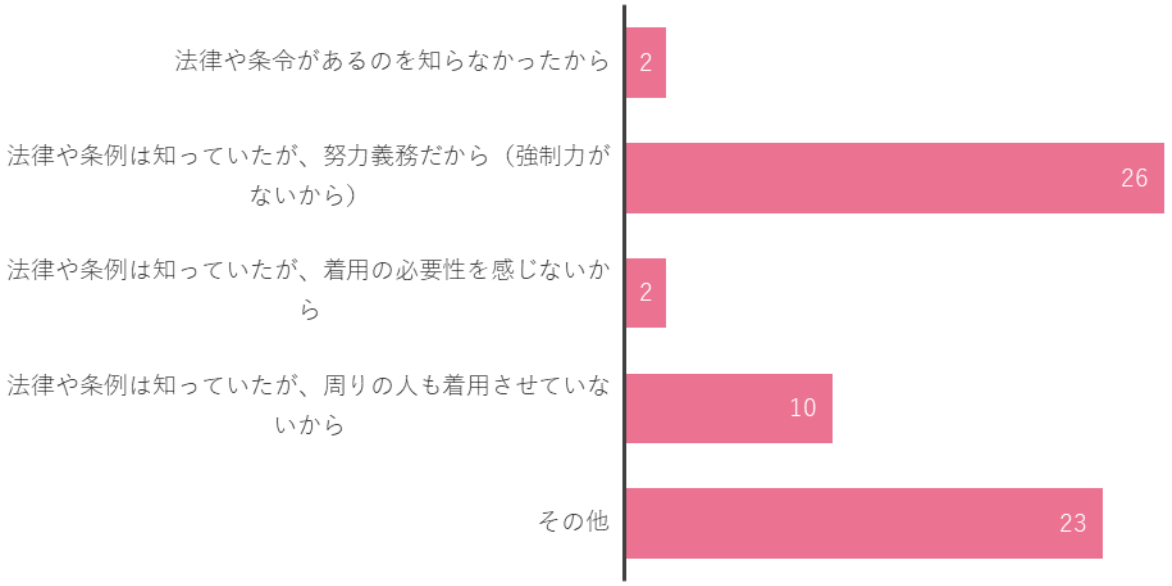
- これまでにヘルメット着用の習慣がなかったから
- 今までかぶっていないので習慣をかえる事が難しい。髪のセットが崩れる。
- 髪が蒸れてしまうから。
- 乗る機会がかなり少なく、移動距離も 5 分程度の距離と短いため。
- 視野が狭くなる気がするから暑いから
- 買っているが、忘れてしまう
- 片道だから
- 暑い　2 件
- 未成年者だけだと思っていた
- ふだん走り回るところは、安全で、今まで危ない目にあったことは一度もないので、場所によって必要性は変わってくると思う。みんながみんな、一律にかぶる必要はないと思う。
- 年に数回も乗らないのでまだ購入していない。以前、ロードバイク乗っていた時は着用。趣味をやめて置きっぱなしのママチャリに用のヘルメットが無い。
- 自転車に乗らない、持っていない　など　13 件

Q18.道路交通法や栃木県の条例で、未成年者に対し、その保護者が自転車ヘルメットを着用させることに努めるよう規定されていますが、あなたのお子さんが自転車に乗る場合、ヘルメットを着用させていますか



【調査結果の概要】
「着用させている」(84%)、「着用させていない」(16%)と、「着用させている」と答えた人が 8 割を超える結果となった。

Q18-1.「Q18」で「ヘルメットを着用させていない」と回答した方にお聞きします。着用させていない理由は何ですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「法律や条例は知っていたが、努力義務だから。（強制力がないから）」(26 件)が最も多く、以下、「その他」(23 件)、「法律や条例は知っていたが、周りの人も着用させていないから」(10 件)などと続いている。

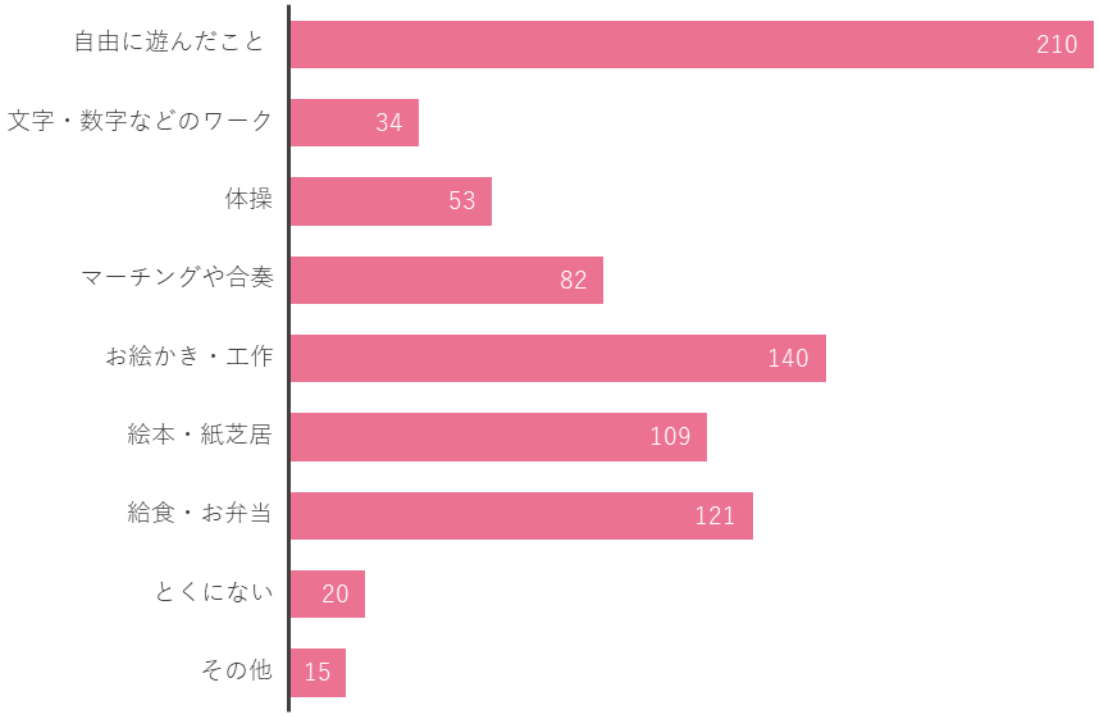
【その他の自由記述】

- 習慣づいていないから
- まだ自転車に乗れる年齢ではないから。乗れるようになったらヘルメットを着用させる予定。
- 学校も徒歩通学圏なので、自転車を持っていない。状況が変わって自転車に乗る場合はヘルメットを買う予定
- こどもが嫌がるので余裕がない時は装着させられない
- 自分に着用習慣がないので、必要性を感じない。
- 子供に言っているが、本人が着けたがらない
- 成長とともにヘルメットが小さくなってしまい、買いに行けていないから
- まだ慣れない
- 校則では違反に当たらない。と言い訳して親の苦言を全くきかない。
- 中学生の子供は着用しているが、高校生の子供は着用していない
- 自転車には乗らないから
- 子に着用を求めているが、子が着用を拒否。
- 子供が反抗期で、言うことをきかないので、どうしようもありません。
- 安全上必要だから。
- 機会が無い
- 自転車を持っていない(母子ともに)
- まだ自転車に乗れる年齢ではないため　など　8 件

テーマ 5

学校などでの生活について

Q19.あなたが、幼稚園、こども園、保育園等に通っていたとき、楽しかったことは何ですか。【いくつでも選んでください】



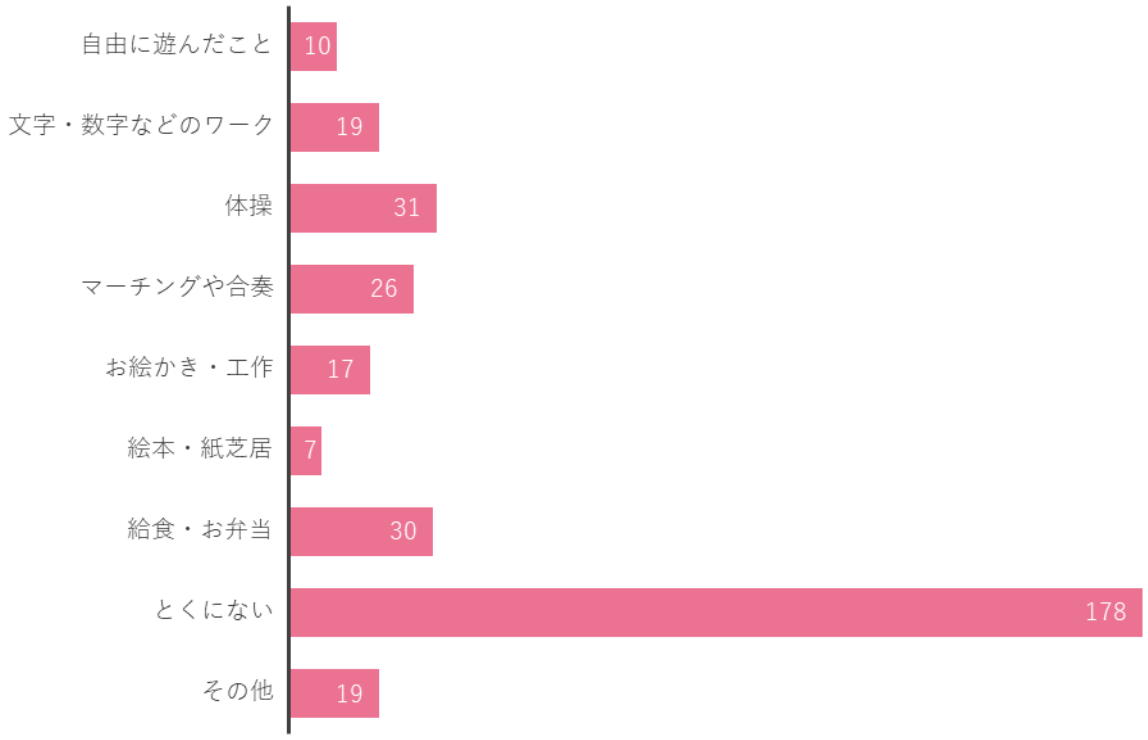
【調査結果の概要】

「自由に遊んだこと」(210 件)が最も多く、以下、「お絵かき・工作」(140 件)、「給食・お弁当」(121 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- 室内にある、階段代わりの滑り台
- 覚えていない。
- 遠足、お祭り、移動動物園
- 学習発表会、運動発表会
- 遠足、芋掘り、お祭り、運動会、発表会など行事
- 劇やダンスの練習
- 演劇
- 遠足、お遊戯会
- 園外学習、お泊まり保育
- 幼稚園、こども園、保育園に通っていませんでした。
- 親子で参加する行事
- 夕涼み会
- イベント行事
- プール
- 泥遊び、水遊び、劇
- 先生との関わり

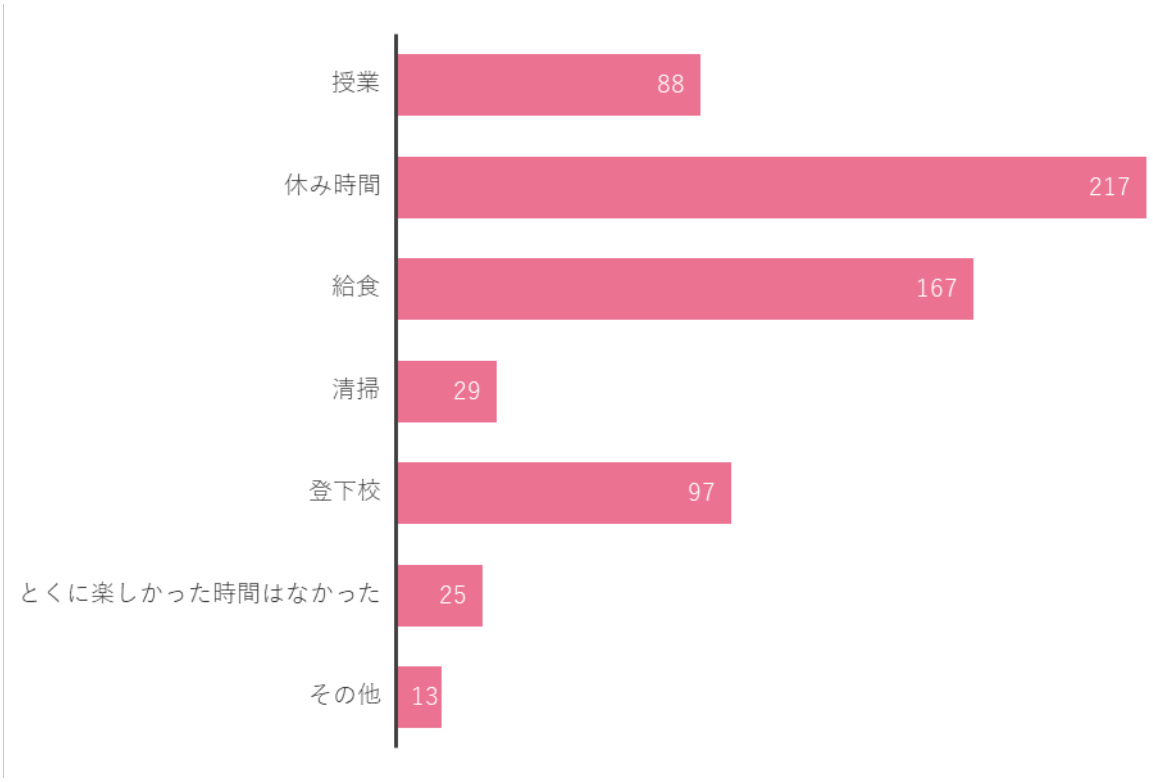
Q20.あなたが、幼稚園、こども園、保育園等に通っていたとき、つまらなかったことは何ですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】
「とくにない」(178 件)が最も多く、以下、「体操」(31 件)、「給食・お弁当」(30 件)などと続いている。

【その他の自由記述】
- 昼寝など　6 件
- つまらなかった内容の記憶がない。
- 毎日決まった時間に通わないといけないこと
- 事細かに指示されること
- 仲間外れにされたこと
- ひとりぼっち
- 自分の工作や発言に対して先生に否定的な事を言われたこと。いじわるな子がいたこと。
- 覚えていない
- 友達と喧嘩した時
- 嫌いなものを無理に食べさせられた、残してはいけなかった
- 幼稚園、こども園、保育園に通っていませんでした。
- お昼寝。寝れなくて辛かった。早く終わらないかなぁと毎日思っていました。
- お友達につねられたりといじめられたこと。
- マラソン
- 通園バスではなくて、徒歩・お迎えでお友達とバスに乗ってみたかった。人気の遊具や砂場は幅を利かせてる子ばかりが遊んでいた事。妹が私の幼稚園行事についてくる事。

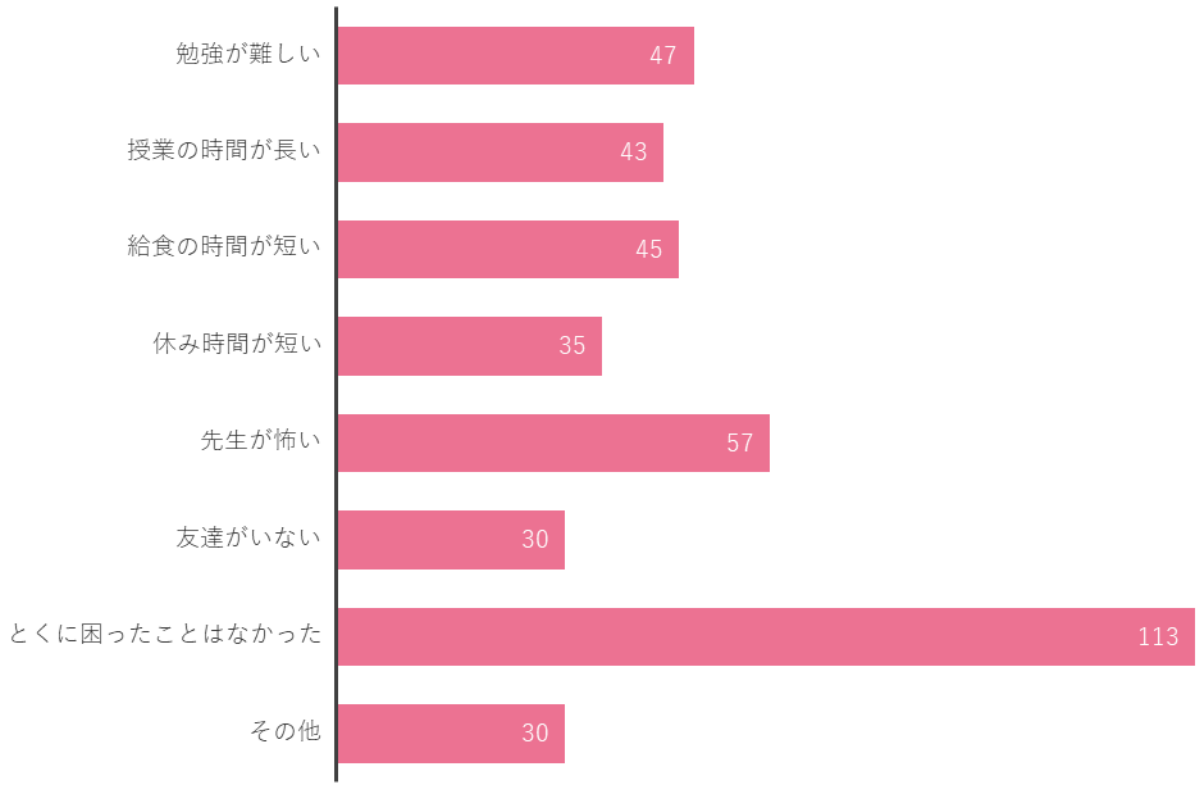
Q21.あなたが、小学校に入学した頃、楽しかった時間は何ですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】
「休み時間」(217 件)が最も多く、以下、「給食」(167 件)、「登下校」(97 件)などと続いている。

【その他の自由記述】
- 覚えていない。
- 部活 地元では小学校から部活があった
- 自分たちでレクリエーションを考え、劇をつくったこと野外活動で、メンバーで相談して活動したこと
- イベント（今よりたくさんあった）
- クラブ活動、遠足、課外授業
- 私の頃は色々自由で楽しかったが、今の子達は給食も机は動かさず授業の時と同じ場所で食べ、清掃も話しては行けなく、登下校も自由がなさそうでかわいそうな気がします。
- 校外学習や田植えなどの授業
- 放課後　2 件
- イベント
- ワークが終わった人から自由時間
- 体育の授業
- 校外活動（演劇鑑賞会、町探検など）

Q22.あなたが、小学校に入学した頃、困ったことは何でしたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「とくに困ったことはなかった」(113 件)が最も多く、以下「先生が怖い」(57 件)、「勉強が難しい」(47 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- 休み時間があるのを知らなかった
- 転校して馴染めなかった
- 自宅から学校までの距離が遠く、通学時間が長かった
- 給食嫌いなの食べるまで残された
- 学校のトイレでうんちをしづらく、我慢していたこと。
- 登下校が大変
- クラス内でのいじめが酷く、子供同士では留まらず、担任いじめまで発展しました。授業どころではなかったです。
- 家から遠い。決まった時間に起きて出かける必要がある。ランドセルが不便。持ち物が多く重い。
- 授業がおもしろくなかった。探求する時間がない。探求して表現したことに対しての適切な評価がなく、深めようと思わせられない。生徒や先生が熱狂してダイナミックなうねりとなるような人を引き付ける仕掛けがなく淡々と授業が構成されている点。
- 先生がクセが強い。独特。男の先生だと緊張する。
- 学校の授業内容は、塾での先取り勉強ありきのものだったので、当時の自分は塾の授業についていけていなかったため、学校での授業内容は入ってこなかった。

- 家から学校までが遠いため、重い荷物を持ち登下校が大変だった。帰り途中、雷がなってきて落ちるんじゃないかと死の恐怖を感じることも多々あった。
- マラソン大会が嫌だった
- 3 年生の時、男の先生がお気に入りの女子を膝の上に座らせたり、距離が近いと感じることがあり困った。
- 友達との接し方が分からなかったこと。
- 通学距離が長い
- 友達関係
- 給食の量が多い
- 食が細かったため、給食をあまり食べることが出来ずにいつも残してしまうことがストレスだった。
- 小さい町だったが、知らない子が半分以上いて不安に思った
- 友達関係
- 給食の時間が遅い
- 厳しい先生もいた
- 給食がおいしくなかった。登下校に時間がかかった（私学、電車込み 1 時間）。
- 学校から家が遠い
- 勉強が簡単すぎる、授業中ひま。
- 友達と遊ばないという選択肢がなかった事。出席停止中に教科書が進んで、九九に苦手になりその後克服までかなり尾を引いた。先生が怖い訳ではないが、先生によって楽しいかが全然違う。
- いじめ
- 友達付き合い
- 覚えていない　2 件

Q23.幼稚園、こども園、保育園の先生、小学校の先生との、あなたの心に残っている思い出はありますか。ある場合は思い出を具体的に聞かせてください。

【自由記述】

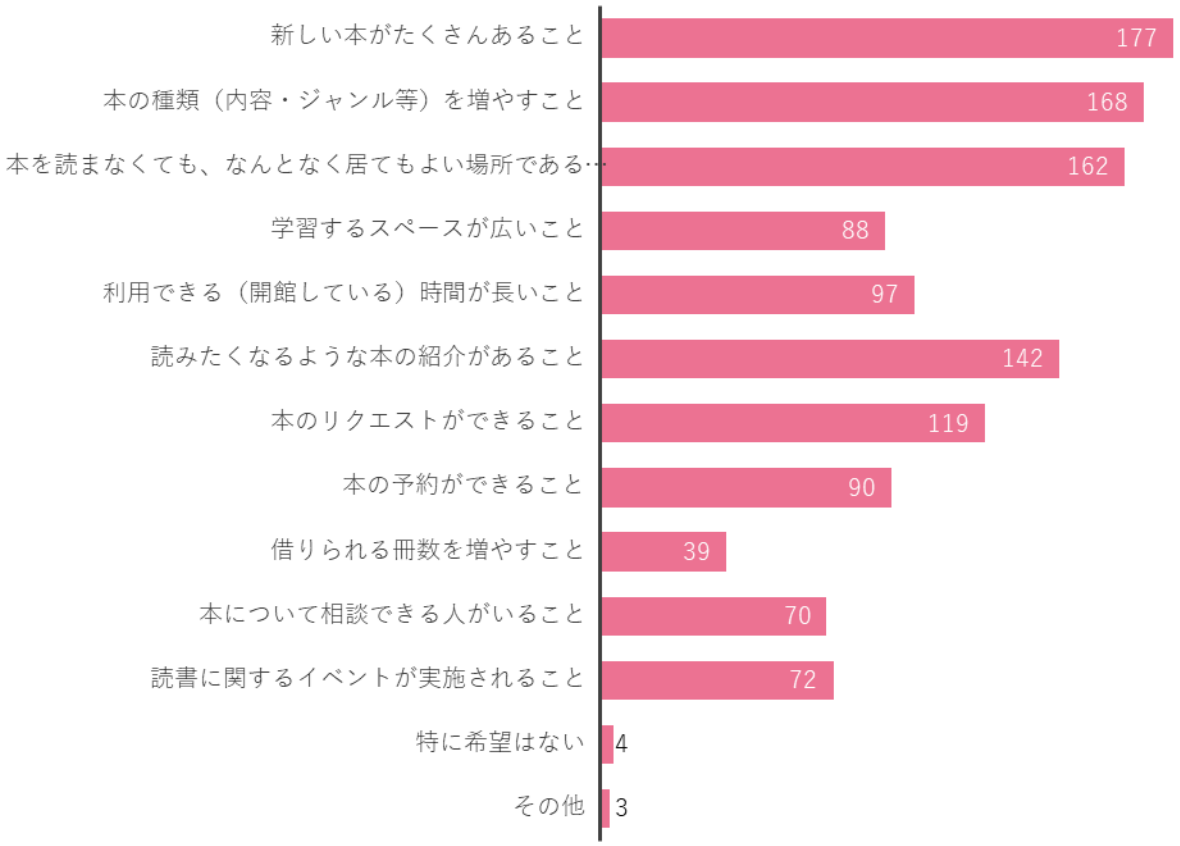
- 隣のクラスの子がお遊戯会の練習絵中に窓の外にいた私に手を振ってきたので、振り返したら自分の担任に怒られた。振り返しただけなのに、事情も聴かず一方的に怒られて納得いかなかった。
- 父親の転勤で転校しなければならないとき、仲良しの友達とのお別れが寂しかった
- 教育実習に来ていた先生と仲良くなり、ご自宅に遊びに行ったこと先生と交換日記をしていたこと
- 一緒に泥団子を作ったこと、おしゃべりしたこと、
- 運動会。持久走。全力でがんばれたこと。
- 親が共働きで忙しかったので、幼稚園の先生が親のように温かく接してくれてとても安心できた。
- 合唱クラブでコンクールでたこと
- 毎日先生に暴力を振るわれていて学校に行けなくなった。両親が学校に話し合いにいってもそんな事はしていないの一点張り。話し合いの後は暴力は無くなったが他のクラスメイトに暴力を振るっていた。今は教師を続けていない事を祈る。
- 泊まりの林海学校の時に夜どうしても寝れなくて、担任の先生が寝るまでそばにいてくれた。
- 教育実習生と放課後遊んだ事。
- ケガで入院した時に頻繁にお見舞いに来てくれたこと
- 小学校 5 年 6 年の先生がとてもおだやかな社会の先生で、高校は同じところを目指したし、大学は落ちたけど似たようなものを専攻した
- みんなで成し遂げる行事ごとは今でも覚えています
- 風邪で長く休んでしまった時に、クラス全員の子からの寄せ書きを持ってきてくれた時のこと。
- 毎日取り組んでいた自主学習を褒めてくれたこと。6 年生の時にいじめに遭い、養護教諭にまず相談、その後担任が解決するためにすぐに行動してくれたこと。
- 先生から無理矢理牛乳をのまされた。
- 家庭訪問で自宅に先生が来た時いつもはおやつにでないケーキなど少し高価な物を先生と親と食べたこと。先生へご飯も食べさせたり野菜などの手土産もあげていたりして、家庭訪問なのか？遊びにきたのか？って感じでした。
- 幼稚園の頃、注射が嫌で園舎を逃げ回っていた
- 小学五年生のとき、授業中ぼーっとしてしまって先生にゲンコツされた
- 小学校の先生が気に食わない事があると、蹴りをいれてきたり全員立たされ休み時間がなかった事があった。ケガについては親が抗議し謝罪に来たが大人になった今あれは立派な体罰だよなと思った。ありがとう
- 幼稚園で苦手なトマトを無理やり食べさせられてつらかった。口の奥に入れてトイレで出した思い出が忘れられない。
- 昔は小学校で学芸会があり、クラスごとに劇をやっていました。先生がギャグ満載の冒険物などワクワクするような面白い台本を書いてくれ、みんなで練習したことがとても楽しかったです。先生の良いところをクラスみんなで雑誌に投稿したり、団結力がありました。
- バレンタイン
- 小学校の部活動でマーチングバンドをやったこと。顧問の先生に誘われて太鼓をやり、夏休みも活動があったりして大変だったけれどいい思い出になった。
- 先生の自宅に遊びに行ったことがある
- 絵が上手だと校長先生が褒めてくれたことが嬉しかった
- 転校で小学校を 3 校変わったが、「転校してきて頑張っているね」と先生から本をもらったこと。今考えるとダメな気もするが頑張る活力になった。放課後先生のお家に行った。
- 小学校の先生に嫌われてしまい、不遇な時を過ごしました。
- 読書が好きでいつも本を読んでいました。卒業アルバムに担任なら「本の虫になって世界中を飛び回ってね」と書いてくれたこと。
- 小 1 の担任の先生が転勤か退職か忘れたが、一年しか担任ではなかった事が当時はショックだったと思う
- 幼稚園の先生がピアノを習う事を勧めてくれ、音大まで卒業したこと。

- 思い出せない。
- 好きなことは 10 年は続けなさいと言われたことが記憶に残っている
- 小学校 3 年生のときの担任の先生が、何でも体育の授業にしてくれてみんなで楽しめるスポーツをやってくれたのを覚えています。
- 小学校 5 、 6 年の担任が、先生自身の色々な体験談を聞かせてくれた。道徳の授業がそんな感じだった。
- 保育園の時に、大好きな女の先生がいました。色々な事を教えてくれました。
- ジャムパンが嫌いだった友達のパンを食べてあげていた思い出があります。
- 小学生の時に、先生が力を入れて教育してくれた百人一首や暗唱、今でも覚えてるほどです。幼稚園では、竹馬や縄跳びを手作りしたり、側転して体を動かしたりしたことが楽しかったです。
- 幼稚園の頃、転んで我慢していたときに、先生が『泣きたいときは泣いていいんだよ』と言ってくれたこと。
- 小学生のとき、友人グループで交換ノートを回していたが、先生の悪口が共通の内容だった。思い返せば、先生は良い人だったので心が痛む。
- 運動会で一等賞で折り紙？でメダルをもらったこと。
- 小学一年生の時に先生がご飯粒を残さずに食べられていて、おわんが綺麗だとみんなの前で褒めてくれたこと
- 芋煮会
- 花の絵を描いて青色に塗ったら、幼稚園の先生に「青い花なんてない」と言われた。私は「あるよ」と言ったが聞き入れられなかった。実際に青色の花はあるし、もしなかったとしても想像で色を塗ってもいいのではないか。と心を潰された思い出。
- 卒園式の時、少し怖かった担任の先生が泣いていたこと
- 合唱部で活動していて、顧問の先生には良くして頂いた。
- お泊まり保育でみんなでお寺に泊まった事。
- 小学校の先生の結婚式に参列したこと。子どもながらに寄せ書きやノート（１人１ページずつ自由にメッセージや絵を書く）をプレゼントとしてみんなで作成したことが良い思い出です。
- 4 年生の時、担任の先生のお家に遊びに行きました。お家では先生が先生じゃないような感じがして不思議でした。お菓子やジュースをたくさん用意してくれていて、お話も沢山聞いてくれて先生のことがもっと好きになりました。
- 自分の通った幼稚園に子供を通わせています。先生が当時のエピソードを懐かしそうに話してくださるのでとても嬉しいです。途中で海外に引っ越してしまったので印象が強いのだとは思いますが。
- 年賀状を長くやり取りしていた。
- 小学 5 年生の時にキャンプファイヤーをしたこと。
- 遠足、工場見学
- 理不尽な事で叱られたが、反論せずに黙って我慢した事
- 小学 3,4 年生の時に毎朝柔軟体操をやらされ、クラス全員身体が柔らかかった。　担任のみの主導で、他のクラスではやっていなかった。今思うとあれをずっと続けていれば良かったなと思う。身体の柔軟性はとても大事な事だと思う。
- すごく熱心に指導してくれた
- 給食が食べ終わらなくて、ふりかけをかけてくれた事。夜の星空観察教室をやった。夕飯弁当持って夜の学校が楽しかった
- 小学校の先生に身長を馬鹿にされた
- 日記の宿題に、ニキビが出来てしまった事を書いたのですが、帰りの会の際にみんなの前で読まれてしまってとても嫌で恥ずかしく思いました。
- お昼寝の時間、先生達がいろいろな製作をしていたのをこっそり見て、かわいいのを作ってくれて嬉しい気持ちになったのを覚えています。
- あのね日記というものがあり、先生と交換日記のようなものをしていた。2 年間楽しい思い出になった。
- 幼稚園の時、切り絵の製作でみんなが終わっても自分は終わらず、だけど先生は終わるまで待っていてくれた。展覧会で観に来た家族に作品の良さをとても褒めてくれました。
- 指しゃぶりを、大好きな幼稚園の先生に説得されて辞められた後で母が相談していたと知った一晩で辞められたので、結果的に良かった

- 苗字が同じで、名前も一文字違いだった幼稚園の先生とは大人になってからも毎年年賀状でやり取りをしていて、卒園以来 30 年ぶりに再会出来た時は感無量でした！
- 雪合戦をしていたら、雪の中に石を入れた雪玉を投げられた。痛くてすごく怒って殴り合いのケンカになり、親を呼び出された。
- 具体的には覚えていないが、お気に入りの先生と話すのが好きでした
- 小学校の先生の家に遊びに行った事
- 卒園後会った時にも覚えていてくれたこと
- 先生を交えた部活のメンバーでキャンプに行ったこと。
- 幼稚絵をの先生が優しくて大好きだった。
- 卒園、卒業した後も数年交流があったこと。先生と会えて、成長を見てもらえたことが嬉しかった。
- 新しい価値観や未来の創造される話（自動運転など）（1990 年頃の話）技術が進化すれば SF が現実になる場合もあると教えてくれたこと
- 小学校高学年でクラスの女子からいじめられていた時、担任の先生が気持ちわかるよと寄り添ってくれたが、その時は偽善と感じてしまった。
- ちょっとしたイジメにあって居た時に担任の先生が庇ってくれ、「お前達より〇〇は凄いんだと」私の良さをイジメていた子達に伝えていた事。私の良さを見つけてくれていた事が嬉しかったです。
- 私は、私立の保育園に通っていました。私が年長だったころ、１番小さい子がいるクラスへ行き先生と一緒にお世話をしたこと。記憶の中ではお世話をしていますが、おそらく真似事のようなことをしていたんだと思います。
- 幼稚園の先生と卒園後も連絡をとっており、成人しても結婚してもなお、手紙のやりとりをしている。
- 今の時代ではありえないが 1.2 年生時の担任がお菓子やお土産をクラス全員に配ってくれた事。時々このような楽しみがあることがとても楽しかったし、今でも友だちとこの時の思い出話をしている。
- 小学生の頃昼休みに先生と遊んで楽しかった記憶があります
- 担任が部活の先生で怖かったけど、今があるのは先生のおかげだなとおもう。常に見ていてくれた
- 担任の先生が他のクラスには内緒でバレンタインの日にクラス全員にチョコレートをくれたこと。凄く嬉しかった。
- 特にこれが楽しかったというのはないが先生との会話や先生の笑顔が印象的でした
- 自分を伸ばしてくれた。
- 6 年間で 4 年も同じ先生で、贔屓されていると言われていたが、実際は問題児と 6 年間同じクラスで任せられて、友人関係も広がらず、惨めな小学生時代だった。
- 掲示物を自由に創作し、それを認めてもらえたこと。基本的にあまり先生とのよい思い出は残っていない。問題児ばかりに手を焼いていて、真面目な生徒は放任されていたイメージ。真面目でいても損だなと思ったイメージがある。
- 小 1 の時の担任の先生は褒めて伸ばす先生でした定年間近の優しい女性絵画をとにかく褒めてもらえて全国絵画展で入選したのは最大の過去の栄光あの方以外は人生でそんな先生に出会えませんでした
- いじめられたり、仲間はずれになっても何もしてくれなかった。
- ヒステリックに怒る先生に、クラスの全員が叩かれた。なぜ、叩かれたかはなぞ。
- 修学旅行などのイベント
- 字が上手に書けていると、スペシャルな花丸をくれたこと
- 楽しかった思い出はあるが、具体的には思い出せない。ある程度の厳しさがあって今思うと良かったと思う。
- 結婚式に招いてもらった
- 小学校 5 年の時の先生に叩かれたこと、大声で怒鳴られたことは強烈に覚えている。小学 3 年生の時に、担任に何も言わずにお祭りの手古舞をやったが、化粧しているにも関わらず気づいてくれて、写真を撮ってくれ、後日メッセージと共に渡してくれたことがうれしかった。
- 学校としての理科研究の時に先生も一緒に学校でやってくれたこと
- 小学校の修学旅行での、先生との枕投げ
- 転んでしまった時に小学校の先生がやさしく声をかけてくれました。
- 逆上がりが中々できず、できるまで、毎日自由時間に先生に練習に付き合ってもらって練習した（年中）。
- 頑張ってひいたピアノを褒めてもらったこと
- 幼稚園で友だちとピアノの下を秘密基地にしていたのですが、後から聞いたら先生は気付いていてシールを貼ってくれたり綺麗に掃除してくれていたのは思い出に残っています。

- お泊まり保育
- 昔は、先生の自宅に遊びにいくのも普通に行われていた。先生の家にいって、お菓子をもらって食べながらおしゃべりするのが楽しかった。
- 小学校入学時の担任が入学後にクラス全員で五色百人一首という百人一首をクラス活動に導入をし、１、２学年の間に百人一首に触れました。今でもゲーム感覚で楽しかったこと、また当時覚えた句はその後の学生時代に役立ちました。
- 幼稚園の先生が卒園してから鉛筆のプレゼントと年賀状をくれたこと
- 幼稚園で絵本が借りられた事。多読賞の記念の先生お手製の紙粘土のクレヨンブローチと賞状を毎年もらえたこと。先生からもらったお誕生日カードや卒園のメッセージカード。教育実習の先生との交流。
- 小学校入学時、好き嫌いが多くありました。当時、給食を食べ切るまで昼休みに入ることができず、先生からの指導で泣きながら嫌いな納豆を食べましたが、ある時から克服して納豆が大好きになりました！
- 授業中に手を挙げるだけでなく、「分かった人は片足立ちをする！」という遊びを混ぜることで、皆が楽しそうに答えようとしている場面。
- 先生の牛乳を飲んであげた。
- 躓いた時に相談にのってくれた事
- 特になし　など　７件

Q24.学校の図書室に望むことは何ですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「新しい本がたくさんあること」(177 件)が最も多く、以下、「本の種類（内容・ジャンル等）を増やすこと」(168 件)、「本を読まなくても、なんとなく居てもよい場所であること」(162 件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- 本に限らずに著書者の映画や歴史にまつわる映像放映、仕事に繋がる勉強の講座、中高生の進学・就職の道標になる相談窓口
- 休みの日も借りられたらいい
- 教室にいたくない時の居場所（本で心が豊かになれるような）
- 小さい頃から読書が好きで、自分だけの読んだ足跡や読書マップで、読破したシリーズや自分の知識や興味を多角的に知りたいと思っていた。読書が好きな人同士の関わり合いが少ない。